

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスそうや 保護者等数(児童数) 回収数 1 割合 100 %

|             | チェック項目  |    |               |     |       | ご意見 | ご意見を踏まえた対応   |                               |
|-------------|---|----|---------------|-----|-------|-----|--|-------------------------------|
|             |   | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない |     |  |                               |
| 環境・<br>体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか  | 1  |               |     |       |     | 目的(学習・活動・遊び)によって部屋割りをしている。   |                               |
|             | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか   |    |               |     | 1     |     | 定期的に療育等の研修や話し合いを重ねている。   |                               |
|             | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか   | 1  |               |     |       |     | 床マットの色や仕切り、テーブル、おもちゃ等の収納棚で空間を分け子どもに色や家具設備、絵等で親しみやすくわかりやすいようにしている。また、おもちゃ箱に表示を付けることで、何がどこにあるかを分かりやすくしている。 |                               |
|             | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか  | 1  |               |     |       |     | 活動に合わせた生活空間にしている。  |                               |
| 適切な支援の提供    | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか  | 1  |               |     |       |     | ガイドラインやアンケートをもとに保護者と面談を行い支援計画に反映している。  |                               |
|             | 6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 1  |               |     |       |     |  |                               |
|             | 7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | 1  |               |     |       |     |  |                               |
|             | 8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか  | 1  |               |     |       |     |  | 活動を通してその個の応じた療育プログラムに取り組んでいる。 |
|             | 9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか   |    |               |     | 1     |     |  | 今後取り組んでいきたい。                  |
| 保護者への説明等    | 10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか   | 1  |               |     |       |     | 契約時だけでなく適宜対応していく。  |                               |
|             | 11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか  | 1  |               |     |       |     | 子どもの行動に対しての当事業所の見立てや支援の考え方や方法もお伝えしている。電話やライン等であってもしっかりと聞いた上でアドバイスしている。ただ、私たちも日々学び情報や知識・技術の獲得に真摯に取り組む。    |                               |
|             | 12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか  |    |               |     | 1     |     |  |                               |
|             | 13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか   | 1  |               |     |       |     | 適宜共通理解に努めている。  |                               |

|          |    |   |   |  |  |   |  |   |
|----------|----|---|---|--|--|---|--|---|
|          | 14 | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか  |   |  |  | 1 |  | 定期的に行っている。  |
|          | 15 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか   |   |  |  | 1 |  | 今後状況を見て保護者会の開催を検討していく。  |
| 保護者への説明等 | 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか |   |  |  | 1 |  | 保護者からの相談や意見等に対して迅速な対応をしている。                                     |
|          | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか   | 1 |  |  |   |  | 連絡帳やSNSを用いて情報共有をしている。   |
|          | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか              | 1 |  |  |   |  | ホームページ等でも活動や療育の様子等がわかるように発信していく。                                |
|          | 19 | 個人情報の取り扱いに十分注意されているか  | 1 |  |  |   |  | ホームページでは活動記録写真もアップしているが利用ご家族しか閲覧することができないようにパスワードをかけている。        |
|          | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか           | 1 |  |  |   |  | 状況に応じて説明している。定期的な訓練も行っている。                                      |
| 非常時等の対応  | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか   | 1 |  |  |   |  | 行っている。  |
| 満足度      | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか  | 1 |  |  |   |  | 子ども・保護者の方の満足度を高めていく療育や活動を常に目指し、個々に合わせて事業所全体が真摯に取り組んで実践を積み重ねていく。 |
|          | 23 | 事業所の支援に満足しているか  | 1 |  |  |   |  |   |

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。